

平成31年度

# 入学者選抜要項

特別入試（抜粋）

富 山 大 学

## 2 募集人員

学部	学 科・コース	入学定員	募集人員												
			一般入試		専門学科・総合学科卒業生入試 (前期日程)	アドミッション・オフィス入試		特別入試							
			前期日程	後期日程		A O入試Ⅰ	A O入試Ⅱ	推薦入試		帰国生徒入試	社会人入試				
								推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ						
人文学部	人 文 学 科	170	110	35					25	若干名	若干名				
人間発達科学部	発 達 教 育 学 科 (教育心理・学校教育・発達福祉コース)	80	52	20					8 (注3)	若干名	若干名				
	人 間 環 境 シ ス テ ム 学 科 (地域スポーツ・環境社会デザイン・人間情報コミュニケーションコース)	90	文 系20 理 系20 実技系10	25				15 (注4)		若干名	若干名				
	計	170	102	45				15	8	若干名	若干名				
経済学部	昼間主コース	経 済 学 科	120	79	11				30		若干名				
		経 営 学 科	100	64	10				26		若干名				
		経 営 法 学 科	85	56	9				20		若干名				
		小 計	305	199	30				76		若干名				
	夜間主コース	経 済 学 科	10		4							6			
		経 営 学 科	10		4							6			
		経 営 法 学 科	10		4							6			
		小 計	30		12							18			
計	335	199	42				76		若干名	18					
理学部	数 学 科	50	28	15				6		若干名	1				
	物 理 学 科	40	a 10 b 12	10				7		若干名	1				
	化 学 科	35	a 17 b 5	7					5	若干名	1				
	生 物 学 科	35	23	7					4	若干名	1				
	生 物 圏 環 境 科 学 科	30	a 10 b 10	5				4		若干名	1				
	計	190	115	44				17	9	若干名	5				
医学部	医 学 科	105	60	20					地域枠15以内 富山県特別枠 10以内	若干名					
	看 護 学 科	80	50	10					20	若干名	若干名				
	計	185	110	30					45	若干名	若干名				
薬学部	薬 学 科	55	35	5				15		若干名					
	創 薬 科 学 科	50	40	5				5		若干名					
	計	105	75	10				20		若干名					
工学部(注7)	工 学 科	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	365	a 196 b 68	57	(a 45) (b 20)	(12)	若干名			(2)	(10)	若干名	若干名	
		知 能 情 報 工 学 コ ー ス				(a 40) (b 18)	(10)	若干名			(2)	(10)	若干名	若干名	
		機 械 工 学 コ ー ス				(a 45) (b 20)	(15)	若干名		14	(5)	30	(5)	若干名	若干名
		生 命 工 学 コ ー ス				(a 33) (b 5)	(10)	若干名			(3)		(2)	若干名	若干名
		応 用 化 学 コ ー ス				(a 33) (b 5)	(10)	若干名			(2)		(3)	若干名	若干名
		計				365	264	57	若干名			14	30	若干名	若干名
芸術文化学部	芸 術 文 化 学 科	110	a 27 b 27	a 11 b 11				a 17 b 17		若干名	若干名				
都市デザイン学部	地 球 シ ス テ ム 科 学 科	40	26	10				4		若干名	若干名				
	都 市 ・ 交 通 デ ザ イ ン 学 科	40	15	10			10		5	若干名	若干名				
	材 料 デ ザ イ ン 工 学 科	60	a 20 b 20	13				3	4	若干名	若干名				
	計	140	81	33			10	7	9	若干名	若干名				
合 計	1,770	1,110	318			10	7	185	117	若干名	23				

注1) 「A O入試Ⅰ」及び「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さないもの、「A O入試Ⅱ」及び「推薦入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課すものを表します。

- 2) アドミッション・オフィス入試及び推薦入試等の特別入試において、募集人員に欠員が生じた場合は、その欠員は「一般入試（前期日程）」の募集人員に加えます。  
ただし、医学部医学科「推薦入試（自己推薦入試を含む。）」で募集人員に欠員が生じた場合は、その欠員は「一般入試（後期日程）」の募集人員に加えます。
- 3) 人間発達科学部発達教育学科「推薦入試」の募集人員8人の内訳は、発達福祉コース8人のみです。
- 4) 人間発達科学部人間環境システム学科「推薦入試」の募集人員15人の内訳は、地域スポーツコース10人、人間情報コミュニケーションコース5人です。
- 5) 医学部医学科は6年制課程です。なお、富山県特別枠は自己推薦入試として実施します。
- 6) 薬学部薬学科は6年制課程です。
- 7) 工学部工学科「一般入試（前期日程・後期日程）」及び「推薦入試」は工学科全体で募集を行います。  
なお、表中の（ ）の数は、各コースの受入予定者数（概ねの人数）を示します。  
（コース選択及び決定方法については、注10を確認してください。）
- 8) 理学部、工学部及び都市デザイン学部の「一般入試（前期日程）」における募集区分aは大学入試センター試験重視の配点による選抜、募集区分bは個別学力検査重視の配点による選抜を行います。なお、実施教科・科目等は同一です。
- 9) 芸術文化学部における募集区分a及び募集区分bは、実施教科・科目等が異なる選抜を行います。
- 10) 次の学部においては、特定の入試区分において出願時に複数の志望学科等を選択することができます。

### ○経済学部

「一般入試（前期日程・後期日程）」、「特別入試（推薦、帰国生徒、社会人入試）」においては、必ず第3志望まで学科を選択してください。※夜間主コースは後期日程、社会人入試のみ。

合格者の所属学科は第1志望を優先して決定されます。

ただし、各学科の合格者数が、募集人員を超える場合は、第2志望以下の学科に決定されることがあります。

### ○工学部

#### 1. 一般入試（前期日程）

出願時に「物理」必須グループと「化学」必須グループのいずれかのグループを選択し、そのグループ内において志望コースを選択してください。

##### ・大学入試センター試験「物理」必須グループ

電気電子工学コース、知能情報工学コース、機械工学コースの3コースの中から必ず第3志望まで選択してください。

ただし、個別学力検査の「理科」において、「生物基礎・生物」を選択する場合は、知能情報工学コースしか志望できません。

##### ・大学入試センター試験「化学」必須グループ

生命工学コース、応用化学コースの2コースの中から必ず第2志望まで選択してください。

ただし、個別学力検査の「理科」において、「生物基礎・生物」を選択する場合は、応用化学コースしか志望できません。

合格者の所属コースは第1志望を優先して決定されます。

ただし、各コースの合格者数が、受入予定者数を大きく超える場合は、第2志望以下のコースに決定されることがあります。

その際、下位の志望コースがない場合（例：第2、3志望を選択できない場合）は、コースを決定できないため、不合格となります。

志望コース選択表

個別学力検査		大学入試センター試験	
		大学入試センター試験における「理科」の選択	
		「物理」必須グループ	「化学」必須グループ
個別学力検査における「理科」の選択	物理基礎・物理又は化学基礎・化学	電気電子工学コース 知能情報工学コース 機械工学コース	生命工学コース 応用化学コース
	生物基礎・生物	知能情報工学コース	応用化学コース

#### 2. 一般入試（後期日程）、専門学科・総合学科卒業生入試、推薦入試、帰国生徒入試、社会人入試

出願時に第1志望のみコースを選択してください。

なお、合格者の所属コースは志望を基に決定されます。

(2) 特別入試

学部・学科名等		選抜方法等		推 薦 入 試								帰国生徒・社会人等のための特別入試			その他の入試	備 考							
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する								推薦入試募集人員	帰国生徒	中国引揚者等生徒	社会人										
		個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実 技 検 査 等																			
実技検査を課する	面接を行う			小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他	推薦入試募集人員	帰国生徒	中国引揚者等生徒	社会人													
人文学部	人文学科	○	×	×	×	○	×	×	×	25人	○	○											
人間発達科学部	発達教育学科	教育心理コース	/								8人	○	○		※集団討論を実施する。								
		学校教育コース																					
		発達福祉コース														○	×	×	○	×	×	※○	
	人間環境システム学科	地域スポーツコース	×	○	○	○	×	×	×	10人	○	○											
環境社会デザインコース		/																					
人間情報コミュニケーションコース										×					○	×	○	○	×	×	5人		
経済学部	昼間主コース	経済学科	A推薦	/								15人	○										
			B推薦									15人											
		経営学科	A推薦									×				○	×	○	○	×	×	13人	
			B推薦									13人											
		経営法学科	A推薦									/								10人			
			B推薦																	10人			
夜間主コース	経済学科	/									○												
	経営学科																						
	経営法学科																						
理学部	数学科	×	○	×	○	○	×	×	6人	○	○												
	物理学科	×	○	×	○	○	×	×	7人														
	化学科	○	×	×	○	○	×	×	5人														
	生物学科	○	×	×	○	○	×	×	4人														
	生物圏環境科学科	×	○	×	○	○	×	×	4人														

- (注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。  
 2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。  
 3 斜線は、当該入試を実施しないことを示す。

選抜方法等			推 薦 入 試							帰国生徒・社会人等のための特別入試			そ の 他 の 入 試	備 考	
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							推 薦 入 試 募 集 人 員	帰 国 生 徒	中 国 引 揚 者 等 生 徒			社 会 人
			個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実 技 検 査 等										
実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る			外 国 語 に お け る リ ス テ ン グ テ ス ト を 課 す る	そ の 他	15人 以内	○	○	○	※ ○				
学部・学科名等															
医学部	医 学 科		○	×	×	○	○	×	×	15人以内	○	/	/	○	※自己推薦入試(10人以内)を示す。選抜方法等については55ページを参照。
	看 護 学 科		○	×	×	○	○	×	×	20人	○	/	/	○	
薬学部	薬 学 科		×	○	×	○	○	×	※ ○	15人	○	/	/	/	※適性検査を課すことを示す。
	創 薬 科 学 科		×	○	×	○	○	×	※ ○	5人	○	/	/	/	
工学部	電 気 電 子 工 学 コース	A 推 薦	○	×						(10人)		/	/	/	※1 面接には、基礎学力に関する試問を含む。 ※2 ( )の数は、各コースの受入予定者数(概ねの人数)を示す。
		B 推 薦	×	○						(2人)		/	/	/	
	知 能 情 報 工 学 コース	A 推 薦	○	×						(10人)		/	/	/	
		B 推 薦	×	○						(2人)		/	/	/	
	機 械 工 学 コース	A 推 薦	○	×	×	※1 ○	○	×	×	(5人)	○	/	/	○	
		B 推 薦	×	○						(5人)		/	/	/	
	生 命 工 学 コース	A 推 薦	○	×						(2人)		/	/	/	
		B 推 薦	×	○						(3人)		/	/	/	
	応 用 化 学 コース	A 推 薦	○	×						(3人)		/	/	/	
		B 推 薦	×	○						(2人)		/	/	/	
	芸術文化学部	芸 術 文 化 学 科	a	×	○	○	×	×	×	17人	○	/	/	○	
			b	×	○	×	○	×	×	17人	○	/	/	○	
都市デザイン学部	地 球 シ ス テ ム 科 学 科										/	/	/		
	都 市 ・ 交 通 デ ザ イ ン 学 科	A 推 薦								2人		/	/		
		B 推 薦	×	○	×	○	○	×	×	3人	○	/	/	○	
	材 料 デ ザ イ ン 工 学 科	A 推 薦								3人		/	/		
B 推 薦									1人		/	/			

- (注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。  
2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。  
3 斜線は、当該入試を実施しないことを示す。

## 5 平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等

### (1) 教科・科目名の表記

本学における大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように表記しています。

○国語 → 国

『国語』 → 「国」

○地理歴史 → 地歴

「世界史A」 → 「世A」

「世界史B」 → 「世B」

「日本史A」 → 「日A」

「日本史B」 → 「日B」

「地理A」 → 「地理A」

「地理B」 → 「地理B」

○公民 → 公民

「現代社会」 → 「現社」

「倫理」 → 「倫」

「政治・経済」 → 「政経」

『倫理, 政治・経済』 → 「倫・政経」

○数学 → 数

「数学Ⅰ」 → 「数Ⅰ」

『数学Ⅰ・数学A』 → 「数Ⅰ・数A」

「数学Ⅱ」 → 「数Ⅱ」

『数学Ⅱ・数学B』 → 「数Ⅱ・数B」

『簿記・会計』 → 「簿」

『情報関係基礎』 → 「情報」

○理科 → 理

「物理基礎」 → 「物基」

「化学基礎」 → 「化基」

「生物基礎」 → 「生基」

「地学基礎」 → 「地基」

「物理」 → 「物」

「化学」 → 「化」

「生物」 → 「生」

「地学」 → 「地」

○外国語 → 外

『英語』 → 「英」

『ドイツ語』 → 「独」

『フランス語』 → 「仏」

『中国語』 → 「中」

『韓国語』 → 「韓」

(注1) 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は、2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

(注2) 『英語』のリスニングテストを利用する場合は「英(リスニングテストを含む。)」と表記しています。

(注3) 地理歴史、公民及び理科②(基礎を付していない科目)の2科目受験者については、大学入試センター試験の解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

個別学力検査の出題教科・科目名は、省略しない表記、又は上記と同様及び次のように表記しています。

○国語 → 国

「国語総合」 → 「国総」

○数学 → 数

「数学Ⅲ」 → 「数Ⅲ」 「数学A」 → 「数A」 「数学B」 → 「数B」

○理科 → 理

「物理基礎・物理」 → 「物基・物」

「化学基礎・化学」 → 「化基・化」

「生物基礎・生物」 → 「生基・生」

「地学基礎・地学」 → 「地基・地」

○外国語 → 外

「コミュニケーション英語Ⅱ」 → 「コミュニ英語Ⅱ」

「コミュニケーション英語Ⅲ」 → 「コミュニ英語Ⅲ」

「英語表現Ⅰ」 → 「英表現Ⅰ」

「英語表現Ⅱ」 → 「英表現Ⅱ」

## 6 実技検査の内容

### (1) 人間発達科学部

#### ① 前期日程【人間環境システム学科】

区 分	検 査 内 容
体 育 実 技	1. 基礎運動能力検査 下記の(1)から(4)までの種目を全員に課す。 (1) 垂直とび (2) メディシンボール投げ (3) 反復横とび (4) 20mシャトルラン (往復持久走) 2. 運動技能検査 当該種目に関する基本的技能を検査する。 下記の(1)から(5)までの中から、出願時に1種目を選択。 (1) マット運動 (2) 短距離走 (3) バスケットボール (4) サッカー (5) バレーボール

#### ② 推薦入試【人間環境システム学科 (地域スポーツコース)】

区 分	検 査 内 容
体 育 実 技	運動技能検査 下記の(1)から(5)までの中から、出願時に1種目を選択。 (1) 体操競技 (2) 陸上競技 (3) バスケットボール (4) サッカー (5) バレーボール

### (2) 芸術文化学部

#### 前期日程, 後期日程, 推薦入試, 帰国生徒入試及び社会人入試【募集区分 a】

区 分	検 査 内 容
実 技 検 査	<b>鉛筆デッサン〔3時間(180分間)〕</b> ・解答用紙〔画用紙 (B3)〕にモチーフをデッサンする。 実技検査当日に持参する用具 ・鉛筆デッサン用具一式 (注) 解答用紙及び画板は、大学側で用意する。

## 7 特別入試

### 特 別 入 試 (推 薦 入 試)

実施学部・学科名	人文学部……人文学科														
募集人員	25人														
出願要件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 平成31年度大学入試センター試験の国語、地理歴史・公民、外国語を受験する者</p> <p>(2) 人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p>														
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、個別学力検査を免除し、大学入試センター試験、推薦書、調査書、志願理由書及び小論文の結果を総合して行う。</p> <p>・大学入試センター試験の利用教科・科目名          &lt;3教科3科目&gt;          国〔国〕（必須）          地歴〔世B、日B、地理B〕          公民〔現社、倫、政経、倫・政経〕 } から1          外〔英（リスニングテストを含む。）、独、仏、中、韓から1〕</p> <p>・大学入試センター試験及び小論文の配点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>国語</th> <th>地歴又は公民<sup>(注2)</sup></th> <th>外国語<sup>(注3)</sup></th> <th>計</th> <th>小論文</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>50点</td> <td>50点</td> <td>50点</td> <td>150点</td> <td>100点</td> <td>250点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 大学入試センター試験については、平成31年度大学入試センター試験の教科・科目等を利用する。</p> <p>(注2) 「地歴」及び「公民」から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。</p> <p>(注3) 大学入試センター試験の外国語における英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を50点満点に換算する。</p> <p>なお、聴覚障害者の内、重度難聴者でリスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可されたものの大学入試センター試験の外国語における英語は、筆記試験（200点満点）の得点を50点満点に換算する。また、大学入試センター試験の外国語のその他の科目は、筆記試験（200点満点）の得点を50点満点に換算する。</p>	試験の区分	国語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	外国語 <sup>(注3)</sup>	計	小論文	合計	配点	50点	50点	50点	150点	100点	250点
試験の区分	国語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	外国語 <sup>(注3)</sup>	計	小論文	合計									
配点	50点	50点	50点	150点	100点	250点									
出願期間	平成30年11月1日(木)～7日(水)														
選抜期日	平成30年11月28日(水)														
合格発表日	平成31年2月9日(土)														
その他	推薦人員は、1高等学校等又は高等専門学校につき2人以内とする。														



## 特 別 入 試 (推 薦 入 試)

実施学部・学科名	人間発達科学部……発達教育学科（発達福祉コース）														
募集人員	8人														
出願要件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 平成31年度大学入試センター試験の「国語、地理歴史又は公民、数学及び理科から2教科2科目又は2教科3科目」及び「外国語」を受験する者</p> <p>(2) 人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p>														
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、個別学力検査を免除し、大学入試センター試験、推薦書、調査書、志願理由書、面接及び集団討論の結果を総合して行う。</p> <p>・大学入試センター試験の利用教科・科目名          &lt;3教科3科目又は3教科4科目&gt;          国〔国〕          地歴〔世A、世B、日A、日B、地理A、地理B〕          公民〔現社、倫、政経、倫・政経〕          数〔数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿、情報〕          理〔物基、化基、生基、地から2又は物、化、生、地から1〕          外〔英（リスニングテストを含む。）、独、仏、中、韓から1〕（必須）</p> <p>・大学入試センター試験、面接及び集団討論の配点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">試験の区分</th> <th>国語、地歴又は公民、数学、理科から2<sup>(注2)</sup></th> <th>外国語<sup>(注3)</sup></th> <th>計</th> <th>面接</th> <th>集団討論</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td style="text-align: center;">各100点</td> <td style="text-align: center;">100点</td> <td style="text-align: center;">300点</td> <td style="text-align: center;">40点</td> <td style="text-align: center;">60点</td> <td style="text-align: center;">400点</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">} から1 (注2) } から2</p> <p>(注1) 大学入試センター試験については、平成31年度大学入試センター試験の教科・科目等を利用する。</p> <p>(注2) 国、地歴及び公民、数、理について必要とする教科・科目数を超えて受験している場合は、高得点の2教科2科目又は2教科3科目を採用する。なお、「地歴」及び「公民」については、第1解答科目の成績を採用する。「理科」については、理科①（基礎を付した科目）と理科②（基礎を付していない科目）の両方を受験している場合は、理科①の2科目の合計点と理科②のいずれか高得点の成績を採用し、理科②（基礎を付していない科目）を2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。</p> <p>(注3) 大学入試センター試験の外国語における英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を100点満点に換算する。          なお、聴覚障害者の内、重度難聴者でリスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可されたものの大学入試センター試験の外国語における英語は、筆記試験（200点満点）の得点を100点満点に換算する。          また、大学入試センター試験の外国語のその他の科目は、筆記試験（200点満点）の得点を100点満点に換算する。</p>	試験の区分	国語、地歴又は公民、数学、理科から2 <sup>(注2)</sup>	外国語 <sup>(注3)</sup>	計	面接	集団討論	合計	配点	各100点	100点	300点	40点	60点	400点
試験の区分	国語、地歴又は公民、数学、理科から2 <sup>(注2)</sup>	外国語 <sup>(注3)</sup>	計	面接	集団討論	合計									
配点	各100点	100点	300点	40点	60点	400点									
出願期間	平成30年11月1日（木）～7日（水）														
選抜期日	平成30年11月28日（水）														
合格発表日	平成31年2月9日（土）														
その他															

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	人間発達科学部……………人間環境システム学科（地域スポーツコース）
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で人物、学力ともに優れ、特に実技が優秀で、かつ、勉学意欲が旺盛であり、合格した場合に入学が確約でき、学校長が責任をもって推薦するもの</p>
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、スポーツ活動調書（スポーツ活動の成績を証明する資料を含む。）、実技及び面接の結果を総合して行う。</p>
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	実技の検査内容については、42ページを参照すること。

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	人間発達科学部……………人間環境システム学科（人間情報コミュニケーションコース）
募 集 人 員	5人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、合格した場合に入学が確約でき、学校長が責任をもって推薦するもの</p>
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、人間情報コミュニケーション関連活動調書、小論文（情報、国際コミュニケーション、マルチメディアデザインに関する内容から選択。）及び面接の結果を総合して行う。</p>
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	_____

## 特 別 入 試 (推 薦 入 試)

実施学部・学科名	経済学部「昼間主コース」……………経済学科・経営学科・経営法学科							
募 集 人 員	<p>A 推 薦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科</li> <li>・専門学科のうちの普通系専門学科：理数，体育，音楽，美術，外国語，国際関係に関する学科，その他の専門教育を施す学科</li> <li>・総合学科の一部</li> <li>・特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3学年</li> </ul>							
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">学 科</th> <th style="width: 50%;">募集人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経 済 学 科</td> <td style="text-align: center;">15人</td> </tr> <tr> <td>経 営 学 科</td> <td style="text-align: center;">13人</td> </tr> <tr> <td>経 営 法 学 科</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> </tbody> </table>	学 科	募集人員	経 済 学 科	15人	経 営 学 科	13人	経 営 法 学 科
学 科	募集人員							
経 済 学 科	15人							
経 営 学 科	13人							
経 営 法 学 科	10人							
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校（以下「高等学校等」という。）若しくは特別支援学校の高等部を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号のいずれかに該当し、人物、学力ともに優れ、かつ、明確な目的意識をもち、基礎学力と高い英語能力を備え、合格した場合に入学が確約でき、学校長が責任をもって推薦するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校等の普通科及び専門学科のうちの普通系専門学科（以下「普通科等」という。）に所属する者</li> <li>(2) 高等学校等の総合学科に所属し、専門教育に関する各教科・科目の修得単位が卒業時において20単位に満たない見込みの者</li> <li>(3) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3学年に所属する者</li> </ol>							
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書，調査書，志願理由書，小論文及び面接の結果を総合して行う。 小論文は，社会科学に関する文章・資料・統計等を示し論述させる。 なお，その際に示される文章・資料等には英文が含まれる。</p>							
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日 (木) ～ 7 日 (水)							
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日 (水)							
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日 (金)							
そ の 他	<p>推薦人員 共 通 1つの高等学校等からのA推薦とB推薦をあわせた推薦人員は、以下のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1学年の入学定員の合計が200人未満の場合は、3人以内</li> <li>(2) 1学年の入学定員の合計が200人以上の場合は、7人以内</li> </ol> <p>A推薦</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 普通科等，特別支援学校の高等部又は高等専門学校の1学年の入学定員の合計が、200人未満の場合は2人以内、200人以上の場合は3人以内とする。</li> <li>(2) 総合学科の1学年の入学定員が、200人未満の場合は2人以内、200人以上の場合は3人以内とする。</li> </ol>							

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	経済学部「昼間主コース」……………経済学科・経営学科・経営法学科							
募 集 人 員	B 推 薦 ・専門教育を主とする学科（職業学科）：農業，工業，商業，水産，家庭，看護，情報，福祉に関する学科，その他の専門教育を施す学科  ・総合学科の一部							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">学 科</th> <th style="width: 50%;">募集人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経 済 学 科</td> <td style="text-align: center;">15人</td> </tr> <tr> <td>経 営 学 科</td> <td style="text-align: center;">13人</td> </tr> <tr> <td>経 営 法 学 科</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> </tbody> </table>	学 科	募集人員	経 済 学 科	15人	経 営 学 科	13人	経 営 法 学 科
学 科	募集人員							
経 済 学 科	15人							
経 営 学 科	13人							
経 営 法 学 科	10人							
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）又は中等教育学校（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき，平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）で，次の(1)又は(2)のいずれかに該当し，かつ，(ア)から(ウ)までの学習成績等についての要件のすべてに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校等の専門教育を主とする学科（職業学科）（以下「職業学科」という。）に所属する者</p> <p>(2) 高等学校等の総合学科に所属し，専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得見込みの者</p> <p>(ア) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(イ) 英語，簿記，情報処理などの特定の分野に優れた者</p> <p>(ウ) 人物，学力ともに優れ，かつ，勉学意欲が旺盛であり，合格した場合に入学が確約でき，学校長が責任をもって推薦する者</p>							
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は，大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，推薦書，調査書，志願理由書，小論文及び面接の結果を総合して行う。</p> <p>小論文は，社会科学に関する文章・資料・統計等を示し論述させる。</p> <p>なお，その際に示される文章・資料等には英文が含まれる。</p>							
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木） ～ 7 日（水）							
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日（水）							
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日（金）							
そ の 他	<p>推薦人員</p> <p>共 通 1つの高等学校等からのA推薦とB推薦をあわせた推薦人員は，以下のとおりとする。</p> <p>(1) 1学年の入学定員の合計が200人未満の場合は，3人以内</p> <p>(2) 1学年の入学定員の合計が200人以上の場合は，7人以内</p> <p>B推薦 (1) 職業学科の1学年の入学定員の合計が，80人未満の場合は1人，120人未満の場合は2人以内，200人未満の場合は3人以内，200人以上の場合は7人以内とする。</p> <p>(2) 総合学科は，1学年の入学定員にかかわらず2人以内とする。</p>							

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	理 学 部……………数学科
募 集 人 員	6人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 高等学校等又は高等専門学校における調査書の数学の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>(2) 人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文（数学的思考力を問う内容を含む。）及び面接の結果を総合して行う。</p>
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木） ～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	_____

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	理 学 部……………物理学科
募 集 人 員	7人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 高等学校等又は高等専門学校において物理を履修した者</p> <p>(2) 人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文（物理と数学の基礎的な学力を問う内容を含む。）及び面接の結果を総合して行う。</p>
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木） ～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	_____



## 特 別 入 試 (推 薦 入 試)

実施学部・学科名	理学部………化学科														
募集人員	5人														
出願要件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 高等学校等又は高等専門学校において化学を履修した者</p> <p>(2) 人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3) 平成31年度大学入試センター試験の国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語を受験する者</p> <p>(4) 合格した場合に入学が確約できる者</p>														
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、個別学力検査を免除し、次のとおり第1次選考及び第2次選考により行う。</p> <p>〔第1次選考〕 推薦書、化学担当教諭の所見、調査書、志願理由書、小論文（化学的思考力を問う内容を含む。）及び面接の結果を総合して第1次選考合格者を決定する。</p> <p>〔第2次選考〕 第1次選考合格者に対し、大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の合計得点が下表の配点の500点以上の者を最終合格者とする。</p> <p><b>【書類審査、小論文及び面接の配点】</b> 書類審査 20点 小論文 100点 面接 80点</p> <p><b>【大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点】</b> 〈5教科7科目〉 国〔国〕（必須） 地歴〔世A、世B、日A、日B、地理A、地理B〕 } から1 公民〔現社、倫、政経、倫・政経〕 } 数〔数Ⅰ・数A及び数Ⅱ・数B〕（必須） 理〔物、化、生、地から2〕 外〔英（リスニングテストを含む。）、独、仏、中、韓から1〕</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>国語</th> <th>地歴又は公民<sup>(注2)</sup></th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語<sup>(注3)</sup></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200点</td> <td>100点</td> <td>200点</td> <td>200点</td> <td>200点</td> <td>900点</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注1）大学入試センター試験については、平成31年度大学入試センター試験の教科・科目等を利用する。 （注2）「地歴」及び「公民」から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。 （注3）大学入試センター試験の外国語における英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。 なお、聴覚障害者の内、重度難聴者でリスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可されたものの大学入試センター試験の外国語における英語は、筆記試験（200点満点）の得点をそのまま利用する。また、大学入試センター試験の外国語のその他の科目は、筆記試験（200点満点）の得点をそのまま利用する。</p>	試験の区分	国語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数学	理科	外国語 <sup>(注3)</sup>	合計	配点	200点	100点	200点	200点	200点	900点
試験の区分	国語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数学	理科	外国語 <sup>(注3)</sup>	合計									
配点	200点	100点	200点	200点	200点	900点									
出願期間	平成30年11月1日（木）～7日（水）														
選抜期日	第1次選考期日：平成30年11月28日（水） 〔小論文及び面接の実施日を示す。〕														
合格発表日	第1次選考合格発表日：平成30年12月7日（金） 最終合格発表日：平成31年2月9日（土）														
その他	—														



## 特 別 入 試 (推 薦 入 試)

実施学部・学科名	理学部……………生物学科												
募集人員	4人												
出願要件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 高等学校等又は高等専門学校において生物を履修した者</p> <p>(2) 人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3) 平成31年度大学入試センター試験の国語、数学、理科、外国語を受験する者</p> <p>(4) 合格した場合に入学が確約できる者</p>												
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、個別学力検査を免除し、次のとおり第1次選考及び第2次選考により行う。</p> <p>〔第1次選考〕 推薦書、生物担当教諭の所見、調査書、志願理由書、小論文（生物学的思考力を問う内容を含む。）及び面接の結果を総合して第1次選考合格者を決定する。</p> <p>〔第2次選考〕 第1次選考合格者に対し、大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験の合計得点が下表の配点の500点以上の者を最終合格者とする。</p> <p><b>【書類審査、小論文及び面接の配点】</b> 書類審査 50点 小論文 100点 面接 50点</p> <p><b>【大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点】</b> 〈4教科5科目又は4教科6科目〉 国〔国〕（必須） 数〔数Ⅰ・数A及び数Ⅱ・数B〕（必須） 理〔「生基・物基」, 「生基・化基」, 「生基・地基」又は生〕<sup>（注2）</sup> 外〔英（リスニングテストを含む。）、独、仏、中、韓から1〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語<sup>（注3）</sup></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200点</td> <td>200点</td> <td>300点</td> <td>200点</td> <td>900点</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注1）大学入試センター試験については、平成31年度大学入試センター試験の教科・科目等を利用する。</p> <p>（注2）「理科」について、指定した理科①（基礎を付した科目）と理科②（基礎を付していない科目）の両方を受験している場合は、理科①の2科目の合計点と理科②のいずれか高得点の成績を採用し、理科②（基礎を付していない科目）を2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。</p> <p>（注3）大学入試センター試験の外国語における英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。 なお、聴覚障害者の内、重度難聴者でリスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可されたものの大学入試センター試験の外国語における英語は、筆記試験（200点満点）の得点をそのまま利用する。また、大学入試センター試験の外国語のその他の科目は、筆記試験（200点満点）の得点をそのまま利用する。</p>	試験の区分	国語	数学	理科	外国語 <sup>（注3）</sup>	合計	配点	200点	200点	300点	200点	900点
試験の区分	国語	数学	理科	外国語 <sup>（注3）</sup>	合計								
配点	200点	200点	300点	200点	900点								
出願期間	平成30年11月1日（木）～7日（水）												
選抜期日	第1次選考期日：平成30年11月28日（水） 〔小論文及び面接の実施日を示す。〕												
合格発表日	第1次選考合格発表日：平成30年12月7日（金） 最終合格発表日：平成31年2月9日（土）												
その他	—												

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	理 学 部……………生物圏環境科学科
募 集 人 員	4 人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(2) 合格した場合に入学が確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文（科学的な思考力を問う内容を含む。）及び面接の結果を総合して行う。</p>
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	_____

## 特 別 入 試 (推 薦 入 試「地域枠」)

実施学部・学科名	医 学 部……………医学科														
募 集 人 員	15人以内														
出 願 要 件	<p>富山県内の高等学校を平成31年3月卒業見込みの者で、次の要件を満たし、学校長が責任をもって推薦できるもの</p> <p>(1) 富山県内の地域医療に貢献したいという強い意志とそれを支える資質を有する者</p> <p>(2) 平成31年度大学入試センター試験の国語, 地理歴史又は公民, 数学, 理科, 外国語を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p> <p>(4) 卒業後は, 富山大学附属病院(富山大学が指定する医療機関を含む。)で, 2年間の初期研修を含む3年間の臨床研修に従事することを確約できる者</p>														
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は, 個別学力検査を免除し, 次のとおり行う。</p> <p>(1) 推薦書, 調査書, 志願理由書, 小論文及び面接の結果を総合して選抜を行う。</p> <p>(2) 本学医学部医学科が課す大学入試センター試験の合計得点が下表の配点の80%(720点)以上の者を合格者の対象とする。</p> <p><b>【小論文及び面接の配点】</b>          小 論 文 100点          面 接 100点</p> <p><b>【大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点】</b>          〈5教科7科目〉          国〔国〕(必須)          地歴〔世B, 日B, 地理B〕 } から1          公民〔倫・政経〕 }          数〔数I・数A及び数II・数B〕(必須)          理〔物, 化, 生から2〕          外〔英(リスニングテストを含む。), 独, 仏, 中, 韓から1〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">試験の区分</th> <th style="font-size: small;">国 語</th> <th style="font-size: small;">地歴又は公民<sup>(注2)</sup></th> <th style="font-size: small;">数 学</th> <th style="font-size: small;">理 科</th> <th style="font-size: small;">外国語<sup>(注3)</sup></th> <th style="font-size: small;">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">配点</td> <td style="font-size: small;">200点</td> <td style="font-size: small;">100点</td> <td style="font-size: small;">200点</td> <td style="font-size: small;">200点</td> <td style="font-size: small;">200点</td> <td style="font-size: small;">900点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 大学入試センター試験については, 平成31年度大学入試センター試験の教科・科目等を利用する。          (注2) 「地歴」及び「公民」から2科目を受験している場合は, 第1解答科目の成績を採用する。          (注3) 大学入試センター試験の外国語における英語は, 筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に換算する。          なお, 聴覚障害者の内, 重度難聴者でリスニングテストの免除を大学入試センターに申請し, 許可されたものの大学入試センター試験の外国語における英語は, 筆記試験(200点満点)の得点をそのまま利用する。また, 大学入試センター試験の外国語のその他の科目は, 筆記試験(200点満点)の得点をそのまま利用する。</p>	試験の区分	国 語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数 学	理 科	外国語 <sup>(注3)</sup>	合 計	配点	200点	100点	200点	200点	200点	900点
試験の区分	国 語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数 学	理 科	外国語 <sup>(注3)</sup>	合 計									
配点	200点	100点	200点	200点	200点	900点									
出 願 期 間	平 成 30 年 12 月 6 日(木) ~ 12 日(水)														
選 抜 期 日	平 成 30 年 12 月 23 日(日)〔小論文及び面接の実施日を示す。〕														
合 格 発 表 日	平 成 31 年 2 月 9 日(土)														
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者が15人に満たない場合, その不足分は, 後期日程の募集人員に加える。</li> <li>・1高等学校からの推薦人員は, 制限しない。</li> </ul>														

## 特 別 入 試（自己推薦入試「富山県特別枠」）

実施学部・学科名	医学部………医学科														
募集人員	10人以内														
出願要件	<p>次の(1), (2)いずれかに該当し, かつ, ①から④まですべてに該当する者</p> <p>(1) 富山県内の高等学校を平成31年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき, 平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。)又は卒業後2年以内の者</p> <p>(2) 出願時に富山県在住で, 平成29年4月以降に高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者</p> <p>① 医師免許取得後, 一定期間(「富山県地域医療確保修学資金貸与制度」の規定による。), 富山県内で診療に従事することを確約できる者</p> <p>② 富山県内の地域医療に貢献するという強い意志を有する者</p> <p>③ 平成31年度大学入試センター試験の国語, 地理歴史又は公民, 数学, 理科及び外国語を受験する者</p> <p>④ 合格した場合に入学が確約できる者</p>														
選抜方法等	<p>入学者の選抜は, 個別学力検査を免除し, 次のとおり行う。</p> <p>(1) 自己推薦書, 調査書, 課題作文及び面接の結果並びに大学入試センター試験の成績を総合して選抜を行う。</p> <p>(2) 本学医学部医学科が課す大学入試センター試験の合計得点が下表の配点の80%(720点)以上の者を合格者の対象とする。</p> <p><b>【大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点】</b></p> <p>〈5教科7科目〉</p> <p>国〔国〕(必須)</p> <p>地歴〔世B, 日B, 地理B〕 } から1</p> <p>公民〔倫・政経〕 }</p> <p>数〔数I・数A及び数II・数B〕(必須)</p> <p>理〔物, 化, 生から2〕</p> <p>外〔英(リスニングテストを含む。), 独, 仏, 中, 韓から1〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>試験の区分</th> <th>国語</th> <th>地歴又は公民<sup>(注2)</sup></th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語<sup>(注3)</sup></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200点</td> <td>100点</td> <td>200点</td> <td>200点</td> <td>200点</td> <td>900点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 大学入試センター試験については, 平成31年度大学入試センター試験の教科・科目等を利用する。</p> <p>(注2) 「地歴」及び「公民」から2科目を受験している場合は, 第1解答科目の成績を採用する。</p> <p>(注3) 大学入試センター試験の外国語における英語は, 筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に換算する。</p> <p>なお, 聴覚障害者の内, 重度難聴者でリスニングテストの免除を大学入試センターに申請し, 許可されたものの大学入試センター試験の外国語における英語は, 筆記試験(200点満点)の得点をそのまま利用する。また, 大学入試センター試験の外国語のその他の科目は, 筆記試験(200点満点)の得点をそのまま利用する。</p>	試験の区分	国語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数学	理科	外国語 <sup>(注3)</sup>	合計	配点	200点	100点	200点	200点	200点	900点
試験の区分	国語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数学	理科	外国語 <sup>(注3)</sup>	合計									
配点	200点	100点	200点	200点	200点	900点									
出願期間	平成30年12月6日(木)～12日(水)														
選抜期日	平成30年12月23日(日)〔課題作文及び面接の実施日を示す。〕														
合格発表日	平成31年2月9日(土)														
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本選抜は「緊急医師確保対策」に基づく選抜であり, 合格者には「富山県地域医療確保修学資金貸与制度」による修学資金が用意されている。</li> <li>・志願者は出願の際に, 一定期間(「富山県地域医療確保修学資金貸与制度」の規定による。), 富山県内で診療に従事することについて確約書の提出が求められる。</li> <li>・合格者が10人に満たない場合, その不足分は, 後期日程の募集人員に加える。</li> </ul>														

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	医 学 部……………看護学科														
募 集 人 員	20人														
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）又は中等教育学校（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）で次の要件を満たし、学校長が責任をもって推薦できるもの</p> <p>(1) 人物・学力ともに優秀で、特に看護学に関する勉学意欲が強く、将来はその専門分野における実務・指導に携わることを決意している者</p> <p>(2) 平成31年度大学入試センター試験の国語、地理歴史又は公民、数学、理科及び外国語を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p>														
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、個別学力検査を免除し、次のとおり行う。</p> <p>(1) 推薦書、調査書、志願理由書、特別活動調書、小論文及び面接の結果を総合して行う。</p> <p>(2) 本学医学部看護学科が課す大学入試センター試験の合計得点が下表の配点の65%（520点）以上の者を合格者の対象とする。</p> <p><b>【書類審査、小論文及び面接の配点】</b>  書類審査 50点  小論文 100点  面接 100点</p> <p><b>【大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点】</b>  〈5教科6科目又は5教科7科目〉  国〔国〕（必須）  地歴〔世A、世B、日A、日B、地理A、地理B〕 } から1  公民〔現社、倫、政経、倫・政経〕 }  数〔数I、数I・数Aから1〕及び〔数II、数II・数Bから1〕  理〔物基、化基、生基、地基から2〕又は〔物、化、生、地から1〕  外〔英（リスニングテストを含む。）、独、仏、中、韓から1〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">試験の区分</th> <th style="text-align: center;">国 語</th> <th style="text-align: center;">地歴又は公民<sup>(注2)</sup></th> <th style="text-align: center;">数 学</th> <th style="text-align: center;">理 科<sup>(注3)</sup></th> <th style="text-align: center;">外国語<sup>(注4)</sup></th> <th style="text-align: center;">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">配点</td> <td style="text-align: center;">200点</td> <td style="text-align: center;">100点</td> <td style="text-align: center;">200点</td> <td style="text-align: center;">100点</td> <td style="text-align: center;">200点</td> <td style="text-align: center;">800点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 大学入試センター試験については、平成31年度大学入試センター試験の教科・科目等を利用する。  (注2) 「地歴」及び「公民」から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。  (注3) 「理科」については、理科①（基礎を付した科目）と理科②（基礎を付していない科目）の両方を受験している場合は、理科①の2科目の合計点と理科②のいずれか高得点の成績を採用し、理科②（基礎を付していない科目）を2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。  (注4) 大学入試センター試験の「外国語」における英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。  なお、聴覚障害者の内、重度難聴者でリスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可されたものの大学入試センター試験の「外国語」における英語は、筆記試験（200点満点）の得点をそのまま利用する。また、大学入試センター試験の「外国語」のその他の科目は、筆記試験（200点満点）の得点をそのまま利用する。</p>	試験の区分	国 語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数 学	理 科 <sup>(注3)</sup>	外国語 <sup>(注4)</sup>	合 計	配点	200点	100点	200点	100点	200点	800点
試験の区分	国 語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数 学	理 科 <sup>(注3)</sup>	外国語 <sup>(注4)</sup>	合 計									
配点	200点	100点	200点	100点	200点	800点									
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）														
選 抜 期 日	平 成 30 年 12 月 10 日（月）〔小論文及び面接の実施日を示す。〕														
合 格 発 表 日	平 成 31 年 2 月 9 日（土）														
そ の 他	—————														

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	薬学部……………薬学科・創薬科学科
募集人員	薬学科 15人 創薬科学科 5人
出願要件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）又は中等教育学校（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）で次の要件を満たし、学校長が責任をもって推薦できるもの</p> <p>(1) 高等学校等における調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者で、人物・学力ともに優秀で、特に薬学部での勉学を強く希望するもの</p> <p>(2) 合格した場合に入学が確約できる者</p> <p>(3) 高等学校等において次の教科・科目を履修している者</p> <p>ア 数 学：数学Ⅲを履修している者（理数科にあつては、理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ，理数数学特論を履修している者）</p> <p>イ 理 科：「物理基礎・物理」及び「化学基礎・化学」を履修している者（理数科にあつては、理数物理及び理数化学を履修している者）</p> <p>ウ 外国語：コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱを履修している者</p>
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書，調査書，志願理由書，小論文・適性検査及び面接の結果を総合して行う。
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木） ～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	推薦人員は、1高等学校等につき各学科2人以内とする。



## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	工学部……………工学科												
募 集 人 員	<p>A 推薦（普通科，普通系専門学科，総合学科又は高等専門学校第3学年対象） 工学科 30人</p> <p>※募集は工学科全体で行う。 （各コースの受入予定者数）</p> <p>電気電子工学コース 10人，知能情報工学コース 10人， 機械工学コース 5人，生命工学コース 2人，応用化学コース 3人</p>												
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。），中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき，平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校の第3学年を平成31年3月修了見込みの者で，次の各号に該当し，人物，学力ともに優れ，かつ，勉強意欲が旺盛であり，学校長が責任をもって推薦するもの</p> <p>(1) 高等学校等の普通科，普通系専門学科又は総合学科に所属する者。なお，高等専門学校の所属学科は指定しない</p> <p>(2) 平成31年度大学入試センター試験の国語，地理歴史又は公民，数学，理科及び外国語を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p>												
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は，個別学力検査を免除し，次のとおり第1次選考及び第2次選考により行う。</p> <p>〔第1次選考〕</p> <p>推薦書，調査書，志願理由書，小論文及び面接（基礎学力に関する試問を含む。）の結果を総合して第1次選考合格者を決定する。</p> <p>〔第2次選考〕</p> <p>第1次選考合格者に対し，大学入試センター試験を課し，大学入試センター試験の合計得点が次表の配点の55%（440点）以上の者を最終合格者とする。</p> <p><b>【小論文及び面接の配点】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">コース</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気電子工学コース</td> <td>小論文 100点</td> </tr> <tr> <td>機械工学コース</td> <td>面 接 200点</td> </tr> <tr> <td>知能情報工学コース</td> <td>小論文 100点</td> </tr> <tr> <td>生命工学コース</td> <td>面 接 100点</td> </tr> <tr> <td>応用化学コース</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	コース	配点	電気電子工学コース	小論文 100点	機械工学コース	面 接 200点	知能情報工学コース	小論文 100点	生命工学コース	面 接 100点	応用化学コース	
コース	配点												
電気電子工学コース	小論文 100点												
機械工学コース	面 接 200点												
知能情報工学コース	小論文 100点												
生命工学コース	面 接 100点												
応用化学コース													

（次ページに続く）

(前ページから続く)

選 抜 方 法 等	<b>【大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点】</b>						
	コース	教科・科目名					
	電気電子工学コース 知能情報工学コース 機械工学コース	〈5教科7科目〉 国〔国〕(必須) 地歴〔世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B〕 } から1 公民〔現社, 倫, 政経, 倫・政経〕 } 数〔数Ⅰ・数A(必須)〕及び〔数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1〕 理〔物(必須)〕及び〔化, 生から1〕 外〔英(リスニングテストを含む。), 独, 仏, 中, 韓から1〕					
	生命工学コース 応用化学コース	〈5教科7科目〉 国〔国〕(必須) 地歴〔世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B〕 } から1 公民〔現社, 倫, 政経, 倫・政経〕 } 数〔数Ⅰ・数A(必須)〕及び〔数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1〕 理〔化(必須)〕及び〔物, 生から1〕 外〔英(リスニングテストを含む。), 独, 仏, 中, 韓から1〕					
	試験の区分	国 語	地歴又は公民 <sup>(注2)</sup>	数 学	理 科	外国語 <sup>(注3)</sup>	合 計
	配点	100点	100点	200点	200点	200点	800点
	(注1) 大学入試センター試験については、平成31年度大学入試センター試験の教科・科目等を利用する。 (注2) 「地歴」及び「公民」から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用する。 (注3) 大学入試センター試験の「外国語」における英語は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に換算する。 なお、聴覚障害者の内、重度難聴者でリスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可されたものの大学入試センター試験の「外国語」における英語は、筆記試験(200点満点)の得点をそのまま利用する。また、大学入試センター試験の「外国語」のその他の科目は、筆記試験(200点満点)の得点をそのまま利用する。						
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日(木) ～ 7 日(水)						
選 抜 期 日	第1次選考期日：平成 30 年 11 月 28 日(水) [小論文及び面接の実施日を示す。]						
合 格 発 表 日	第1次選考合格発表日：平成 30 年 12 月 7 日(金) 最終合格発表日：平成 31 年 2 月 9 日(土)						
そ の 他	1校あたりの推薦人員 高等学校等の1校当たりの推薦人員は、普通科・普通系専門学科・総合学科を合わせた1学年の入学定員が200人未満の場合は3人以内とし、200人以上の場合は5人以内とする。 高等専門学校1校当たりの推薦人員は、1学年の入学定員が200人未満の場合は3人以内とし、200人以上の場合は5人以内とする。						



## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	工学部……………工学科
募 集 人 員	B推薦〔専門教育を主とする学科（職業学科）又は総合学科対象〕 工学科 14人 ※募集は工学科全体で行う。 （各コースの受入予定者数） 電気電子工学コース 2人，知能情報工学コース 2人， 機械工学コース 5人，生命工学コース 3人，応用化学コース 2人
出 願 要 件	高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）又は中等教育学校（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき，平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）で，次の各号に該当し，人物，学力ともに優れ，かつ，勉強意欲が旺盛であり，学校長が責任をもって推薦するもの (1) 高等学校等の専門教育を主とする学科（職業学科）又は総合学科に所属する者 (2) 工業又は情報に関する教科・科目を20単位以上履修した者 (3) 合格した場合に入学が確約できる者
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は，大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，推薦書，調査書，志願理由書，小論文及び面接（基礎学力に関する試問を含む。）の結果を総合して行う。
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	1つの高等学校等からの推薦人員は，募集するコース毎に1人とする。

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	芸術文化学部……芸術文化学科					
募 集 人 員	<table style="border: none; width: 100%;"> <tr> <td style="border: none;">募集区分 a</td> <td style="border: none; text-align: right;">17人</td> <td rowspan="2" style="border: none; vertical-align: middle;">} 34人</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">募集区分 b</td> <td style="border: none; text-align: right;">17人</td> </tr> </table>	募集区分 a	17人	} 34人	募集区分 b	17人
募集区分 a	17人	} 34人				
募集区分 b	17人					
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校、特別支援学校の高等部、若しくは文部科学大臣が指定した専修学校高等課程の学科（以下「高等学校等」という。）の卒業（修了）者及び平成31年3月卒業（修了）見込みの者又は高等専門学校第3学年の修了者及び平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任を持って推薦する者</p> <p>(2) 合格した場合に入学が確約できる者</p> <p>ただし、高等学校等卒業（修了）者又は高等専門学校第3学年の修了者が学校長の推薦を受けられない場合は、適切な第三者（親族は除く。）の推薦により出願できる。</p>					
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、募集区分ごとに次の各号の結果を総合して行う。</p> <table style="border: none; width: 100%;"> <tr> <td style="border: none;">募集区分 a</td> <td style="border: none;">(1) 調査書、学校長等の推薦書、志願理由書 (2) 実技検査（鉛筆デッサン） (3) 面接</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">募集区分 b</td> <td style="border: none;">(1) 調査書、学校長等の推薦書、志願理由書 (2) 小論文 (3) 面接</td> </tr> </table>	募集区分 a	(1) 調査書、学校長等の推薦書、志願理由書 (2) 実技検査（鉛筆デッサン） (3) 面接	募集区分 b	(1) 調査書、学校長等の推薦書、志願理由書 (2) 小論文 (3) 面接	
募集区分 a	(1) 調査書、学校長等の推薦書、志願理由書 (2) 実技検査（鉛筆デッサン） (3) 面接					
募集区分 b	(1) 調査書、学校長等の推薦書、志願理由書 (2) 小論文 (3) 面接					
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）					
選 抜 期 日	平成 30 年 11 月 28 日（水）					
合 格 発 表 日	平成 30 年 12 月 7 日（金）					
そ の 他	<p>高等学校等卒業（修了）見込み者又は高等専門学校第3学年の修了見込み者の推薦人員は、1校につき6人以内とする。</p> <p>ただし、高等学校等卒業（修了）者又は高等専門学校第3学年の修了者の推薦人員は、制限しない。</p> <p>募集区分 a の実技検査の内容については、42ページを参照すること。</p>					

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	都市デザイン学部……………都市・交通デザイン学科
募 集 人 員	A推薦（普通科，普通系専門学科，総合学科又は高等専門学校第3学年対象） 2人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき，平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で，次の各号に該当し，人物，学力ともに優れ，かつ，勉学意欲が旺盛であり，学校長が責任をもって推薦するもの</p> <p>(1) 高等学校等の普通科，普通系専門学科，総合学科又は高等専門学校第3学年に所属する者</p> <p>(2) 合格した場合に入学が確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は，大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，推薦書，調査書，志願理由書，小論文及び面接（高等学校等又は高等専門学校第3学年までに修得すべき基礎的な学力を問う口頭試問を含む。）の結果を総合して行う。</p>
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	_____

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	都市デザイン学部……………都市・交通デザイン学科
募 集 人 員	B 推薦〔専門教育を主とする学科（職業学科），総合学科又は高等専門学校第3学年対象〕3人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当し、人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦するもの</p> <p>(1) 高等学校等の専門教育を主とする学科（職業学科），総合学科又は高等専門学校第3学年に所属する者</p> <p>(2) 工業又は情報に関する教科・科目を20単位以上履修した者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文及び面接（工業に関する基礎的な学力を問う口頭試問を含む。）の結果を総合して行う。
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木） ～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	_____

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	都市デザイン学部……………材料デザイン工学科
募 集 人 員	A推薦（普通科，普通系専門学科，総合学科又は高等専門学校第3学年対象） 3人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき，平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で，次の各号に該当し，人物，学力ともに優れ，かつ，勉強意欲が旺盛であり，学校長が責任をもって推薦するもの</p> <p>(1) 高等学校等の普通科，普通系専門学科，総合学科又は高等専門学校第3学年に所属する者</p> <p>(2) 合格した場合に入学が確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	<p>入学者の選抜は，大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，推薦書，調査書，志願理由書，小論文及び面接（基礎学力に関する試問を含む。）の結果を総合して行う。</p>
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	_____

## 特 別 入 試（推 薦 入 試）

実施学部・学科名	都市デザイン学部……………材料デザイン工学科
募 集 人 員	B 推薦〔専門教育を主とする学科（職業学科）、総合学科又は高等専門学校第3学年対象〕1人
出 願 要 件	<p>高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）、中等教育学校若しくは特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当し、人物、学力ともに優れ、かつ、勉強意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦するもの</p> <p>(1) 高等学校等の専門教育を主とする学科（職業学科）、総合学科又は高等専門学校第3学年に所属する者</p> <p>(2) 工業又は情報に関する教科・科目を20単位以上履修した者</p> <p>(3) 合格した場合に入学が確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文及び面接（基礎学力に関する試問を含む。）の結果を総合して行う。
出 願 期 間	平 成 30 年 11 月 1 日（木）～ 7 日（水）
選 抜 期 日	平 成 30 年 11 月 28 日（水）
合 格 発 表 日	平 成 30 年 12 月 7 日（金）
そ の 他	_____

## 特別入試（帰国生徒入試）

### (1) 出願要件

日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の①、②、③又は④のいずれかに該当するもの。ただし、渡航理由が保護者の海外勤務等の事情による者に限る。

- ① 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成29年（2017年）4月1日から平成31年（2019年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者

ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。

なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

- ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成29年（2017年）4月1日から平成31年（2019年）3月31日までに授与された者及び授与される見込みの者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの
- ③ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年（2017年）4月1日から平成31年（2019年）3月31日までに取得した者及び取得見込みの者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの
- ④ 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年（2017年）4月1日から平成31年（2019年）3月31日までに取得した者及び取得見込みの者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの

### (2) 実施学部・学科・コース，募集人員，選抜方法等

学 部	学科・コース	募集人員	選 抜 方 法 等
人文学部	人文学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、書類審査、外国語（英語）、小論文及び面接の結果を総合して行う。 なお、小論文及び面接は、いずれも日本語により行う。
人間発達科学部	発達教育学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査（志願理由書を含む。）、小論文及び面接の結果を総合して行う。
	人間環境システム学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査（志願理由書、活動調書を含む。）、人間環境システム学科に関わるスポーツ、健康、環境、国際、情報等の諸問題についての考え・意見を書いたもの（志願者各自の学びたいことと関連させたものとし、A4判・書式は自由、2,000字以上の分量があること。）及び面接の結果を総合して行う。
経済学部 「昼間主コース」	経済学科 経営学科 経営法学科	各学科 若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。 小論文は、社会科学に関する文章・資料・統計等を示し論述させる。 なお、その際に示される文章・資料等には英文が含まれる。



学 部	学科・コース	募集人員	選 抜 方 法 等
理学部	数学科 物理学科 化学科 生物学科 生物圏環境科学科	各学科 若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。
医学部	医学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、書類審査、一般入試と同一の学力検査（数学、理科及び外国語）及び面接の結果を総合して行う。
	看護学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。
薬学部	薬学科 創薬科学科	各学科 若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文・適性検査及び面接の結果を総合して行う。
工学部	工学科 電気電子工学コース 知能情報工学コース 機械工学コース 生命工学コース 応用化学コース	各コース 若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。
芸術文化学部	芸術文化学科	a	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、次の各号の結果を総合して行う。 (1) 書類審査 (2) 実技検査（鉛筆デッサン）（42ページ参照） (3) 面接（日本語）
		b	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、次の各号の結果を総合して行う。 (1) 書類審査 (2) 小論文（日本語） (3) 面接（日本語）
都市デザイン学部	地球システム科学科 都市・交通デザイン学科 材料デザイン工学科	各学科 若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。

※募集人員はいずれも定員内

(3) 出願期間

医学部医学科を除く学部・学科・コース：  
平成30年11月1日（木）～7日（水）

医学部医学科：  
平成31年1月28日（月）～2月6日（水）

(4) 選抜期日

医学部医学科及び医学部看護学科を除く学部・学科・コース：平成30年11月28日（水）

医学部看護学科：平成30年12月10日（月）

医学部医学科：平成31年2月25日（月）・26日（火）

(5) 合格発表日

医学部医学科及び医学部看護学科を除く学部・学科・コース：平成30年12月7日（金）

医学部看護学科：平成30年12月28日（金）

医学部医学科：平成31年3月8日（金）



## 特別入試（社会人入試）

### (1) 出願要件

ア. 経済学部「夜間主コース」を除く社会人入試実施学部・学科・コース

平成31年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を3年以上<sup>(注)</sup>有する者で、次のいずれかに該当するもの

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号及び第7号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(注) 定時制・通信制及び夜間部等の学校の在学期間並びに家業及び家事従事者等としての期間は、社会人の経験期間に含める。

イ. 経済学部「夜間主コース」

次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）又は中等教育学校（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月卒業見込みの就職内定者<sup>(注)</sup>で、人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、学校長が責任をもって推薦するもの

なお、平成31年3月卒業見込みの者には、学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者も含まれる。

(注) 出願時に就職が内定していない場合には、就業意志が確認できることが必要である。

- ② 勤労者については、高等学校等を平成30年3月以前に卒業した者及びこれに準ずる者又は平成31年3月に高等学校等の定時制又は通信制課程を卒業見込みの者で、人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、職場長の推薦するもの
- ③ その他の社会人については、高等学校等を卒業した者及びこれに準ずる者で、平成31年3月31日までに満23歳に達している者で、人物、学力ともに優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であるもの

### (2) 実施学部・学科・コース，募集人員，選抜方法等

学部	学科・コース	募集人員	選 抜 方 法 等
人文学部	人文学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、書類審査、外国語（英語）、小論文及び面接の結果を総合して行う。
人間発達科学部	発達教育学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査（志願理由書を含む。）、小論文（教育、福祉、一般常識など）及び面接の結果を総合して行う。
	人間環境システム学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査（志願理由書、活動調書を含む。）、人間環境システム学科に関わるスポーツ、健康、環境、国際、情報等の諸問題についての考え・意見を書いたもの（志願者各自の学びたいことと関連させたものとし、A4判・書式は自由、2,000字以上の分量があること。）及び面接の結果を総合して行う。

学部	学科・コース	募集人員	選 抜 方 法 等
経済学部 「夜間主コース」	経済学科 経営学科 経営法学科	6人 6人 6人	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。
理学部	数学科 物理学科 化学科 生物学科 生物圏環境科学科	1人 1人 1人 1人 1人	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。
医学部	看護学科	若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。
工学部	工学科 電気電子工学コース 知能情報工学コース 機械工学コース 生命工学コース 応用化学コース	各コース 若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。
芸術文化学部	芸術文化学科	a	若干名 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、次の各号の結果を総合して行う。 (1) 書類審査 (2) 実技検査(鉛筆デッサン)(42ページ参照) (3) 面接
		b	若干名 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、次の各号の結果を総合して行う。 (1) 書類審査 (2) 小論文 (3) 面接
都市デザイン学部	地球システム科学科 都市・交通デザイン学科 材料デザイン工学科	各学科 若干名	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して行う。

※募集人員はいずれも定員内

(3) 出願期間

平成30年11月1日(木)～7日(水)

(4) 選抜期日

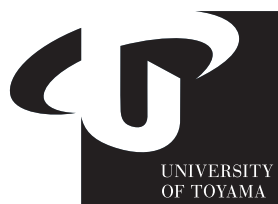
医学部看護学科を除く学部・学科・コース：平成30年11月28日(水)

医学部看護学科：平成30年12月10日(月)

(5) 合格発表日

医学部看護学科を除く学部・学科・コース：平成30年12月7日(金)

医学部看護学科：平成30年12月28日(金)



「本学トップページ」



「入試資料請求ページ」



「人文学部」



「人間発達科学部」



「経済学部」



「理学部」



「医学部」



「薬学部」



「工学部」



「芸術文化学部」



「都市デザイン学部」

## 大学案内・学生募集要項等の請求先及び入試に関する問い合わせ先

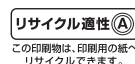
「大学案内・学生募集要項等の請求」及び「入試に関する問い合わせ」は、以下の学務部入試課又は志望学部に行ってください。

なお、「入試に関する問い合わせ」は、原則として、志願者本人が行ってください。

志望する学部名等	担 当 等	住 所
入 試 全 般	学務部入試課 TEL(076)445-6100	〒930-8555 富山市五福3190
人 文 学 部	人文学部（入試担当） TEL(076)445-6138	〒930-8555 富山市五福3190
人間発達科学部	人間発達科学部（入試担当） TEL(076)445-6259	〒930-8555 富山市五福3190
経 済 学 部	経済学部（入試担当） TEL(076)445-6408	〒930-8555 富山市五福3190
理 学 部	理学部（入試担当） TEL(076)445-6546	〒930-8555 富山市五福3190
医 学 部	医薬系学務課（入試担当） TEL(076)434-7138	〒930-0194 富山市杉谷2630
薬 学 部		
工 学 部	工学部（入試担当） TEL(076)445-6701	〒930-8555 富山市五福3190
芸術文化学部	芸術文化学部総務課（入試担当） TEL(0766)25-9133	〒933-8588 高岡市二上町180
都市デザイン学部	都市デザイン学部（入試担当） TEL(076)445-6698	〒930-8555 富山市五福3190

富山大学ウェブサイトURL：<https://www.u-toyama.ac.jp/>

（本学トップページ）→「入試情報ページ」を確認してください。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。